



教育目標

- げんきな子
- よくかんがえる子
- なかよくする子



開園90周年

港区立南山幼稚園

Minato City, Nanzan Kindergarten

12月園だより

令和6年11月22日

November 22, 2024

園長 河合 晴美

Principal

Harumi Kawai



「南山らしさ」で周年行事を

園長 河合 晴美

園庭や南山の森の木々が色づき、戸外で遊ぶ子どもたちは、木の実や落ち葉を拾い、並べたり、貼ったりして遊びに取り入れ楽しんでいます。いよいよ12月7日、90周年の記念式典を迎えます。

式典の日は、港区長、教育長・教育委員の皆さま、港区議会議員の皆さまなど、南山幼稚園に御支援いただいている方々の他、南山幼稚園をつくってきた歴代の園長先生、旧職員、PTA会長の皆さま、学校運営協議会委員、港区立幼稚園長、小中学校長や関係施設の皆さまが来園します。総勢90人近くの方々に南山幼稚園の子どもたちの元気な姿をご覧いただくとともに、今日までの感謝の気持ちを伝えていきたいと思ひます。

さて、アトラクションに向けて南山幼稚園の子どもたちが生き生きと活動する姿、伸び伸びと笑顔で過ごす姿とはどのような姿なのか探ってきました。その過程で体を動かすことが好き、音楽を聴きながら体が動いていく様子、言葉だけではない共感性で笑顔が見られる姿などを考慮し、ダンスを取り上げました。実は、ここ数年南山まつりでその手応えを見てきた結果でもあります。また、校庭で踊る小学生の音楽や動きを見付けて喜んだり、真似してみたりする様子も考慮し、交流活動を続けている5年生に参加をお願いしました。当日は一緒にダンスをします。5年生が自分たちで考えた運動会の動きをさらにアレンジし、幼稚園の子どもたちとのコラボを実現させます。iPadを見ながら自主練習に励む5年生と当日までの間を楽しみながら、様々なジャンルの曲で構成したダンスを楽しみます。

式典の中で5歳児さくら組は、幼稚園のよさを話します。生き物とのかかわり、遠足で経験したことを再現する楽しさ、夏の水遊びや親子運動会のことなど、その言葉は私たちが思うところと一致するものでした。南山幼稚園のよさ、南山幼稚園らしさを表し、これらの思いが伝わるようにしていきます。

保護者の皆さまには、周年委員の皆さまを中心に着々と当日に向けた準備が進められていることに感謝申し上げます。「SHUnen newsletter」を発行し、進捗状況や準備の様子、声掛けなどを周知し共通理解のもと進めていくこともアットホームな南山らしさ、そのものです。南山幼稚園を包んでいる温かさの中で、笑顔いっぱいになる7日を迎えたいと思ひます。そして、これから先の未来につながる思いとともに、たくさんの「風船飛ばし」を行います。当日を楽しみによろしくお願ひいたします。



<保護者発 SHUnen newsletter>

<ブレیکنのポーズを決める3,4歳児>

<5年生の千手観音と5歳児のウェーブ>



